

報告書抄録

ふりがな	さかきざしいせき・さかきざしこふんぐん・くろつちいせきはつくつちょうさほうこくしょ							
書名	榊差遺跡・榊差古墳群・黒土遺跡発掘調査報告書							
シリーズ名	草津市文化財調査報告書132							
編著者名	中村 健二・木下 義信・田中 咲子							
編集機関	草津市教育委員会			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県草津市三丁目13番30号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月	令和3年(2021年)3月31日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
さかきざしいせき・ 榊差遺跡・ さかきざしこふんぐん 榊差古墳群・ くろつちいせき 黒土遺跡	しがけん 滋賀県 くさつし 草津市 みなみがさちょうのじちょう 南笠町・野路町	25206	051・ 056・ 063	34° 99' 84"	135° 93' 97"	20151023) 20170331	20,746㎡	区画 整理事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
榊差遺跡 榊差古墳群 黒土遺跡	集落跡・ 古墳群	縄文時代	旧河道	縄文土器・石器等				
		古代(飛鳥時代中頃～後半頃)	竪穴建物・井戸	土師器・須恵器・鉄製品(鎌・釘)・鉄鉱石・鉄滓等				
		古代(飛鳥時代末頃～奈良時代前半頃)	掘立柱建物・井戸・溝・道路遺構	須恵器・土師器・炉壁・鉄滓等				
		古代(奈良時代後半頃～平安時代中頃)	掘立柱建物・井戸・溝・木棺墓	須恵器・土師器・緑釉陶器・灰釉陶器・木製品(斎串)等				
		平安時代後期頃～室町時代後期頃	掘立柱建物・井戸・溝・道路遺構	青磁・白磁・黒色土器・瓦器・土師器等				
		江戸時代	野井戸・水路跡	肥前産陶器・肥前産磁器等				
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縄文時代～奈良時代の旧河道を確認した。 ・ 飛鳥時代中頃～後半頃の竪穴建物を2棟確認した。 ・ 飛鳥時代末頃～平安時代中頃にかけての官衛的な建物を検出した。この中には、8世紀初頭頃の長舎も含まれる。 ・ 7世紀末～8世紀初頭頃の推定東山道を検出した。 ・ 奈良時代後半頃の井戸を検出した。井戸の中からは、廃棄時の祭祀に使用されたと考えられる完形の土器が斎串とともに多数出土した。 ・ 平安時代後期～室町時代後期の屋敷地を確認した。 ・ 江戸時代の水田耕作に関わる、水路跡や野井戸を検出した。 							